

研究課題名	日本紅斑熱リケッチア抗体価検査法の改良
研究の概要及び研究に用いる試料・情報の種類	<p>日本紅斑熱はダニに咬まれることによりリケッチアという微生物が体内に侵入して引き起こされる病気で、治療が十分に行われないと死に至ることもあります。高知県内の日本紅斑熱の検査は、医療機関の医師から県内の保健所長に依頼される行政検査であり、高知県衛生環境研究所で行っていません。</p> <p>高知県衛生環境研究所では、平成29年度から令和5年度に日本紅斑熱感染を疑われる患者様から検査のために採取され抗体検査を実施した検体（血清）の残りとして岡山県、愛媛県、香川県から匿名化された血清の提供を受け、血清中の日本紅斑熱リケッチア抗体価について機械的、客観的判定による検査法開発に関する研究を行います。この研究では、日本紅斑熱リケッチア抗体価検査法の再現性等を向上させることにより、より正確な日本紅斑熱診断に寄与することが見込まれます。</p> <p>検体となる血清は、検体に付属する患者様の個人情報情報は全て削除し、個人が全く特定されない状態（匿名加工）にしてから研究に使用しますので、氏名、住所等の個人が特定できる情報が公表されることは一切ありません。</p>
研究期間	令和5年11月28日から令和7年3月31日まで
外部への提供	外部への試料・情報の提供はありません。
研究組織	<p>研究機関：高知県衛生環境研究所</p> <p>研究責任者：保健科学課 佐藤 亘</p>
問合わせ先	<p>所在地：高知市丸ノ内2丁目4番1号</p> <p>高知県衛生環境研究所</p> <p>電話：088-821-4963</p> <p>担当：保健科学課 佐藤 亘（研究責任者）</p>

※該当の方からの申し出により、当研究への利用停止が可能です。